

2019年2月12日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
 代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） サラ L. カサノバ
 （コード番号：2702 JASDAQ）
 問い合わせ先 執行役員 IR統括責任者 中澤 啓二
 TEL 03-6911-6000

2018年12月期通期連結決算状況及び2019年12月期連結業績予想について

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の通期連結業績について下記の通りご報告致します。

ハイライト

- ビジネス基盤の強化と、成長のための店舗と人材への投資を積極的に行った結果、既存店売上高対前年比 +6.9%、経常利益対前年比 +30.1%を達成。
- 全店売上高は5期振りに5,000億円超を達成。
- 2019年度は上場以来最高となる、全店売上高 5,510億円を目指す

1. 2018年12月期通期連結決算状況

（単位：百万円）

	2018年通期			
	実績	前年実績	対前年比	対前年比(%)
全店売上高*	524,203	490,188	+34,014	+6.9%
連結売上高	272,257	253,640	+18,616	+7.3%
連結営業利益	25,045	18,912	+6,133	+32.4%
連結経常利益	25,644	19,718	+5,926	+30.1%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	21,939	24,024	△2,085	△8.7%

*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	2018年通期 対前年比(%)
既存店売上高	+6.9%
既存店客数	+4.1%
既存店客単価	+2.7%

2018年度につきましては、2020年までの3年間「全店売上高を年平均5%以上成長」「営業利益／経常利益を年平均10%以上成長」とする中期計画の1年目として、この数年間築いてきたビジネス基盤の更なる強化と、成長のための店舗と人材への投資を積極的に行いました。おいしく、お徳感のあるメニューのご提供、お客様にも一緒にお楽しみいただけるプロモーションの企画、既存店舗の改装、人材への投資による店舗体験の向上などが相乗効果を発揮した結果、全店売上高は対前年比 340億円、6.9%増加の5,242億円となりました。全店売上高が5,000億円を超えるのは5期振りとなります。また、売上高の増加や店舗収益性の改善により、経常利益は対前年比 59億円、30.1%増加の256億円となりました。

2. 2019年12月期 連結業績予想

中期計画の2年目となる2019年度も、常にお客様のニーズにお応えし、進化を続け、継続的に着実な成長を目指してまいります。

2019年度は、ビジネス基盤のさらなる強化のため『店舗と人材への投資』、『既存店成長のため「メニュー」「バリュー」「ファミリー/ブランド」の活動』、『成長を加速させるデリバリーやデジタル分野、未来型店舗体験への投資』を強化してまいります。その中でも特に「バリュー」と「未来型店舗体験」に注力致しまして、全店売上高は2001年の上場以来最高となる5,510億円を目指してまいります。

(単位：百万円)

	2019年通期	
	業績予想	対前年比
全店売上高	551,000	+5.1%
連結売上高	282,500	+3.8%
連結営業利益	27,600	+10.2%
連結経常利益	27,100	+5.7%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	17,400	△20.7%

以上

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。